

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者		連絡先 769-8355
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義
事務事業名	自動車改造費助成				
予算上の事務事業名	自動車改造費助成				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11110	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくれます				
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な福祉施策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
市町村障害者社会参加促進事業実施要綱（国要綱） 相模原市身体障害者自動車改造費助成要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
身体障害者が就労等に伴い自動車を取得する場合に、障害に適するようハンドル、ブレーキ、アクセル等の一部を改造する経費を助成する。（限度額10万円）			前年の所得が特別障害者手当の所得制限額を越えない身体障害者		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。 対象者が、申請書及び見積書を福祉事務所に提出後、内容を審査の上決定をし、改造終了後請求書により助成金を振り込む。17年度の申請者は、18人					
6 関連・類似事業や他市の状況					
国要綱で実施しているため、全国共通の運用である。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	2,463	1,942	1,468	2,000	2,000
一般財源	821	609	489	667	667
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	1,642	1,333	979	1,333	1,333
人件費の合計	178	134	114	127	127
事業コスト合計	2,641	2,076	1,582	2,127	2,127
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	自動車改造費助成			対象名称と単位	助成件数(件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,641	2,076	1,582	2,127	2,127
対象数	28	21	18	20	20
単位あたり経費(円)	94,321	98,857	87,889	106,350	106,350
前年度比		1.05	0.89	1.21	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	助成件数（件）	指標式と指標の説明	年間の申請件数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	28.0	21.0	18.0		
目標	28.0	21.0	18.0	20.0	20.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	助成件数	指標式と指標の説明	申請件数/助成件数*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	28.0	21.0	18.0		
目標	28.0	21.0	18.0	20.0	20.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業は、障害者の社会参加と自立を促進する上で有効な事業であり、今後も継続することの必要性が高い。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 改造について、業者との連絡を密をして、パンフレットなどの作成により対象者への周知を図る。			14 課題として認識されたこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			